



用途 陶芸工房、体験宿泊施設

階数 2階

構造 版築、一部 鉄筋コンクリート造

延床面積 608m<sup>2</sup>

1階面積 272m<sup>2</sup>

2階面積 336m<sup>2</sup>

建築面積 340m<sup>2</sup>

扱うもの、活動する場所から感じられる「土」

版築によって土質的で伝統のある空間を構成する。1階の工房では近隣地域あるいは日本各地から伝統産業の陶芸家によって陶器の製作を行う。生徒たちが一体となって作業可能である。工房東側は通り庭となっており、制作風景、窯の焼いている風景を通りな上から見るができる。乾燥を必要とするため版築の内壁それぞれに棚を設置し、南のガラス張り部分では1階からぐるっと2階まで乾燥棚兼、ギャラリーとする。